



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月13日
上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社
コード番号 4963 URL <http://www.seikopmc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 伊佐木 融 TEL 03-6202-7331
四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	17,568	—	200	—	295	—	△146	—
25年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △128百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△4.82	—
25年12月期第3四半期	—	—

当社は平成25年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、前第3四半期連結財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率及び前年同四半期の連結経営成績（累計）については記載しておりません。

〔参考〕

下記の%表示（調整後増減率）は、当第3四半期（平成26年1月1日から平成26年9月30日）に対応する前年同一期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日）と比較した増減率であります。

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	(単位：百万円)
17,568	200	295	△146	10.5% △74.5% △69.1% ー%

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	28,233	19,928	69.9
25年12月期	27,895	20,133	72.2

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 19,728百万円 25年12月期 20,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	6.00	—	3.00	9.00
26年12月期	—	6.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,270	—	400	—	440	—	△60	—	△2.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成25年12月期は決算期変更に伴い9ヶ月の変則決算となっておりますので、通期連結業績予想の対前期増減率は記載しておりません。

〔参考〕

下記の％表示（調整後増減率）は、平成26年12月期に対応する前年同一期間（平成25年1月1日から平成25年12月31日）と比較した増減率であります。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	（単位：百万円）			
通期	24,270	12.9%	400	△56.7%	440	△65.7%	△60	—%

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）KJケミカルズ株式会社

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	30,743,604株	25年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	421,714株	25年12月期	421,532株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	30,321,940株	25年12月期3Q	—株

当社は平成25年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い前第3四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（参考）前年同一期間比増減率は、当第3四半期連結累計期間に対応する前年の同一期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に対する増減率であります。また、前年同一期間において、当社及び連結子会社は同期間をそれぞれ連結対象期間としております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向で始まりましたが4月以降は消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動減の影響もあり個人消費に弱さが見られました。

当社グループの主要販売先である製紙業界、印刷インキ業界及び事務機器業界、さらに第2四半期連結会計期間より報告セグメントに加わった化成品事業の需要業界である塗料業界等におきましても、消費税増税による需要への影響や原燃料価格の高騰もあり、不透明な経営環境が続きました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努め、化成品事業も加わった結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,568百万円（前年同一期間比10.5%増）となりました。

利益面では、コスト削減・合理化に努めましたが、ロジンを始めとする原材料価格の高騰等により、営業利益は200百万円（前年同一期間比74.5%減）、経常利益は295百万円（前年同一期間比69.1%減）となりました。第2四半期連結会計期間にK J ケミカルズ子会社化に伴う負ののれん発生益370百万円と中国事業に係わる固定資産の減損損失699百万円の計上があり当第3四半期連結累計期間の四半期純損失は146百万円（前年同一期間は612百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は1,984万トンと前年同期比2%の増加でありました。需要が堅調に推移する中、当社グループは、国内市場、中国市場へ差別化商品の売上増加に努めた結果、当事業の売上高は、11,378百万円（前年同一期間比1.2%増）となりました。

利益面では、ロジンを始めとする原材料価格の高騰等に加え中国事業の営業損失により、セグメント利益は528百万円（前年同一期間比35.2%減）となりました。

・印刷インキ用・記録材料用樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は26万2千トンと前年同期比1%の減少でありました。当社グループにおいては、オフセットインキ用樹脂、水性インキ用樹脂、及び記録材料用樹脂の売上高が伸び悩みました。その結果、当事業の売上高は、4,500百万円（前年同一期間比3.2%減）となりました。

利益面では、ロジンを始めとする原材料価格の高騰等により、セグメント利益は27百万円（前年同一期間比81.9%減）となりました。

・化成品事業

第2四半期連結会計期間において新たに加わった当事業の売上高は、1,688百万円となりました。セグメント損失は47百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

(流動資産)

受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の増加、及び短期貸付金の減少により流動資産は17,337百万円(前連結会計年度末比487百万円減)となりました。

(固定資産)

KJケミカルズ㈱の子会社化による有形固定資産の増加及び中国事業に係わる固定資産の減損処理により固定資産は10,895百万円(前連結会計年度末比825百万円増)となりました。

(流動負債)

支払手形及び買掛金の増加及び未払賞与等その他流動負債の増加により流動負債は7,224百万円(前連結会計年度末比281百万円増)となりました。

(固定負債)

退職給付に係る負債の減少及びKJケミカルズ㈱の子会社化による繰延税金負債等その他固定負債の増加により固定負債は1,080百万円(前連結会計年度末比261百万円増)となりました。

(純資産)

四半期純損失の計上、利益の配当、及び少数株主持分の発生により純資産は19,928百万円(前連結会計年度末比205百万円減)となりました。その結果、当連結会計年度末における自己資本比率は69.9%となりました。また、有利子負債残高1,100百万円を自己資本で除した倍率(D/Eレシオ)は0.06倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月31日公表の業績予想に修正はありません。通期の業績見通しにつきましては、売上高は前期同一期間(平成25年1月1日から平成25年12月31日まで)と比較して12.9%増の24,270百万円、営業利益は同56.7%減の400百万円、経常利益は同65.7%減の440百万円、当期純損失は60百万円(前年同一期間の純利益は856百万円)を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、KJケミカルズ株式会社の発行済株式の90%を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	448,520	783,472
受取手形及び売掛金	9,688,769	9,190,137
電子記録債権	329,461	387,952
商品及び製品	1,840,628	2,237,454
仕掛品	339,886	484,938
原材料及び貯蔵品	899,437	1,169,479
短期貸付金	3,871,842	2,460,153
その他	412,264	628,316
貸倒引当金	△5,247	△4,193
流動資産合計	17,825,562	17,337,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,670,708	2,574,688
機械装置及び運搬具(純額)	1,669,494	2,033,286
土地	3,994,740	4,473,345
その他(純額)	405,663	602,779
有形固定資産合計	8,740,606	9,684,100
無形固定資産	71,006	79,664
投資その他の資産		
その他	1,323,174	1,193,448
貸倒引当金	△64,924	△61,716
投資その他の資産合計	1,258,250	1,131,731
固定資産合計	10,069,863	10,895,497
資産合計	27,895,425	28,233,208

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,096,635	3,783,977
短期借入金	1,100,000	1,100,000
未払法人税等	115,454	128,991
賞与引当金	241,284	293,988
その他の引当金	—	32,025
その他	1,390,080	1,885,665
流動負債合計	6,943,455	7,224,648
固定負債		
役員退職慰労引当金	89,925	89,925
退職給付に係る負債	651,123	467,027
資産除去債務	75,253	81,585
その他	2,349	441,947
固定負債合計	818,651	1,080,485
負債合計	7,762,107	8,305,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,566,178	1,566,178
利益剰余金	16,576,567	16,157,550
自己株式	△104,475	△104,675
株主資本合計	20,038,271	19,619,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267,874	258,833
繰延ヘッジ損益	5,100	4,752
為替換算調整勘定	172,432	126,301
退職給付に係る調整累計額	△350,360	△280,883
その他の包括利益累計額合計	95,047	109,004
少数株主持分	—	200,016
純資産合計	20,133,318	19,928,074
負債純資産合計	27,895,425	28,233,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	17,568,617
売上原価	14,169,888
売上総利益	3,398,728
販売費及び一般管理費	3,198,585
営業利益	200,143
営業外収益	
受取利息	15,765
受取配当金	11,257
仕入割引	10,913
為替差益	21,475
補助金収入	16,495
その他	36,669
営業外収益合計	112,576
営業外費用	
支払利息	3,783
売上割引	4,524
賃貸借契約解約損	6,430
その他	2,359
営業外費用合計	17,098
経常利益	295,621
特別利益	
固定資産売却益	346
負ののれん発生益	370,790
退職給付引当金戻入額	93,315
その他	397
特別利益合計	464,850
特別損失	
固定資産除却損	7,865
退職給付費用	44,653
減損損失	699,407
その他	655
特別損失合計	752,580
税金等調整前四半期純利益	7,891
法人税、住民税及び事業税	187,521
法人税等調整額	△37,230
法人税等合計	150,291
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△142,400
少数株主利益	3,719
四半期純損失(△)	△146,119

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)		△142,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△9,040
繰延ヘッジ損益		△348
為替換算調整勘定		△46,131
退職給付に係る調整額		69,477
その他の包括利益合計		13,956
四半期包括利益		△128,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		△132,162
少数株主に係る四半期包括利益		3,719

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	印刷インキ 用・記録材料 用樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	11,378,828	4,500,830	1,688,958	17,568,617	—	17,568,617
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	35,368	170,558	6,326	212,253	△212,253	—
計	11,414,197	4,671,388	1,695,284	17,780,871	△212,253	17,568,617
セグメント利益又は 損失(△)	528,506	27,628	△47,203	508,931	△308,788	200,143

(注) 1. 調整額△212,253千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△308,788千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、管理部門等に係る費用の配賦方法を各セグメントの事業実態に合った合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更しております。

(報告セグメントの追加)

第2四半期連結会計期間において、KJケミカルズ株式会社の株式を取得し当社の連結子会社としております。これに伴い、報告セグメント「化成品事業」を新たに追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	製紙用薬品事業	印刷インキ用・ 記録材料用樹脂 事業	化成品事業	調整額	合計
減損損失	699,407	—	—	—	699,407

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「化成品事業」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にKJケミカルズ株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益370,790千円を計上しております。当該負ののれん発生益は報告セグメントには配分しておりません。